

令和元年 10月 24日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学

学長 丸 義朗

(公印省略)

## リハビリテーション科 教授候補者の公募について 【公募期間延長】

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、東京女子医科大学病院リハビリテーション科の猪飼哲夫教授が令和2年3月31日をもって定年退職となることから、後任の教授を選考することになり、公募をしておりましたが、今般、提出書類の締め切り期日について**令和元年11月15日（金）まで延長することになりました。**

なお、後任の教授には本院リハビリテーション科診療部長を担当していただきます。

つきましては、貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

### 1. 公募の概要および選考方針

リハビリテーション科教授として、リハビリテーション全般に造詣が深く、教育、研究、診療を推進できる方を公募いたします。資格要件は以下のとおりです。

なお、選考にあたりましては、「社会に貢献する女性医療人を育成する」という本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針であることを申し添えます。

- (1) 医師免許を有する方
  - (2) 博士（医学）の学位を有する方
  - (3) 5年以上の教育歴、10年以上の研究歴、10年以上の診療歴を有する方
  - (4) 日本リハビリテーション医学会認定指導医の資格を有する方で、リハビリテーション全般に対する造詣が深く、卓越した技能を有する方
  - (5) 研究業績として、査読付自著論文（\*）15編以上（但し、以下のAを1編以上含み、かつAまたはBを計4編以上含むこと）または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと
- A：英文研究論文（自著原著）とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B：英文研究論文（自著原著）で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙（Letters to the Editor）、ブログ、デジタルオブジェクト識別子（DOI）の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(\*）自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

(6) 臨床においてチーム医療と医療安全を積極的に実践できる方。特に、医療安全に関して、以下のAまたはBを満たす方（学外からの応募の場合、応募時点で基準を満たさないうときには、就任後、1年以内に満たせばよいこととします）。

A：医療安全推進部門において、半日若しくは1日単位で計24日間以上実務者として勤務していること

B：セーフティマネージャー1年以上の経験があること

(7) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、診療部長としてリハビリテーション科を適切に統括するとともに、常に経営改善の努力ができる方

(8) 本学のその他の医療施設である東医療センターリハビリテーション科および附属八千代医療センターのリハビリテーション部門との連携を積極的に推進できる方

(9) 本学の理念である「至誠と愛」を十分に理解するとともに、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境を構築できる方

## 2. 提出書類等

詳細は本紙4～5ページをご参照ください。

様式1～6については、本学ホームページ（HOME > 新着採用情報）からダウンロードしてください。

<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- |  |         |                |
|--|---------|----------------|
| (1) 履歴書                                | 1部      | （補足資料もご提出ください） |
| (2) 業績目録                               | 1部      |                |
| (3) 主要自著論文別刷 10編                       | 各1部     |                |
| (4) 主要自著論文10編の説明                       | 1部      |                |
| (5) 研究資金等の取得状況                         | 1部      |                |
| (6) 診療実績                               | 1部      |                |
| (7) 自己評価書                              | 1部      |                |
| (8) 推薦者一覧                              | 1部      |                |
| (9) 推薦書（厳封）                            | 推薦者3名まで |                |
| (10) 上記（1）～（8）の電子ファイルを保存した媒体（USBまたはCD） | 1式      |                |

※上記（3）はPDFファイルで保存してください。

### 3. 提出方法

- (1) 上記の提出書類を一括して送付してください。
- (2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー（ホッチキス）等は使用しないでください。
- (3) 封書等の表に「親展」「リハビリテーション科教授応募書類」と朱書きしてください。
- (4) 提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

### 4. 提出期限： 令和元年 11月 15日（金）必着

5. 提出先： 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学  
学長 丸 義朗 宛

### 6. 選考方法

- (1) 1次選考：書類審査
- (2) 2次選考：面接審査
- (3) 3次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

### 7. 問い合わせ先

東京女子医科大学 学務部医学部学務課  
電話 03-3353-8111（内線）26070

### 8. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報が漏洩しないよう厳重に管理の上、最終選考が終了しましたら速やかに当方にて責任を持って処分いたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれることをご了承願います。
- (2) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、追加資料の提出を求めことや、状況確認等で所属施設に伺う場合があります。
- (3) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知するものとし、推薦者の方には通知いたしません。
- (4) 本学では、令和元年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

以上

## 提出書類の記載要領等について

### (1) 履歴書 (様式 1) (写真貼付)

別紙 (様式 1) に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会貢献活動、賞罰に分けて記載してください (相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください)。

また、履歴書に記載した卒前、卒後、大学院教育については、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバス (過去 3 年分) のコピー (およびその PDF ファイル) を添付してください。

### (2) 業績目録 (様式 2)

別紙 (様式 2-1、様式 2-2) に従い、Excel ファイル内のシートに記載してください。

### (3) 主要自著論文別刷 10 編

主要な自著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付するとともに、これらの PDF ファイルを (10) の媒体に保存してください。

### (4) 主要自著論文 10 編の説明書 (様式 3)

別紙 (様式 3) に従い、各々の論文の独創的な点について 200 字以内で説明を記載してください。

### (5) 研究資金等の取得状況 (様式 4)

別紙 (様式 4) に従い、直近 10 年間に取得した研究資金を記載してください。

### (6) 診療実績

別紙 (様式 5) に従い、Excel ファイル内のシートに、医療機関に保管登録された診療録に基づき、外来診療その他の状況について記載してください。

### (7) 自己評価書

教育、研究、診療の実績や抱負など、下記①～⑦の各々について、具体的に記載してください (A4 版で各 1～2 枚程度とし、書式自由)。

- ① 教育…卒前・卒後教育 (大学院教育を含む) における講義、実習、少人数教育 (テュートリアルなど) の経験と、教育に対する考えについて記載してください。
- ② 研究…主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、今後の研究の展望と抱負を記載してください。
- ③ 診療…実績、専門領域、特殊技能などについて記載するとともに、患者数および手術数の増加に向けた方策などについても具体的に記載してください。
- ④ 医療安全…セーフティマネージャー等の経験や医療安全講習会への参加状況を

記載するとともに、安全な医療に関するお考えを記載して下さい。

- ⑤ 組織マネジメント…主導的立場で経験した実例を記載して下さい。例えば、教室の運営、医局長や病棟長の経験、所属学会の委員会の委員長、社会貢献活動における主導的立場など、種類を問いません。また、講座の運営方針についてお考えを記載して下さい。
- ⑥ 女性医療者の教育・育成…本学の建学の精神や大学の理念を踏まえ、女性医療者の教育・育成に対するお考えを記載して下さい。これまでに実績があれば、その内容もご記載ください。
- ⑦ 将来への抱負…ご自由にお書きください。

#### (8) 推薦者一覧

推薦書をご提出いただく推薦者（3名まで）の氏名・所属・役職を明記した一覧表（A4版。書式自由）。

#### (9) 推薦書（3名まで）

別紙（様式6）に従い、最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究、診療に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただくようお願いいたします（原則として1枚）。推薦者は国内外を問いませんが、提出期限に注意して依頼して下さい。推薦書は、推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送ってください。

-以上-